

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
ミュージックジョブ2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	2
担当教員	野中志乃			実務経験	有	職種	ダンススタジオマネージメント				
担当教員紹介											
ダンススタジオにて店舗運営管理・ダンサー育成業務・キャストینگ業務等幅広く実務を経験。マツピラティス指導者資格、コンディショニングコーチ認定などダンサーのセカンドキャリアに役立つ資格を有する。											
授業概要											
この科目では、音楽・ダンス業界の現状を学ぶ事で、プロダンサーとして活動する上で求められる人物像、人間性、スキルはどういったものかを考えていく。また、ダンスが付随したイベントや事業形態、企画等を自ら発想する事でビジネスとしてダンスを捉えられるようにしていく。											
到達目標											
この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、10年・20年先の音楽業界で生きて行く為に必要な力は何かを自ら思考できるようになることを目標にしている。											
授業方法											
この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。またその作業を通して、考える力・発信する力・傾聴する力を身に付け、学生自身の人間力を高めていく。											
成績評価方法											
試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する									
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、自分でも情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。オンデマンド授業講義を受講し課題を必ず提出する事。											
教科書教材											
必要に応じてレジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	導入オリエンテーション/授業概要・評価方法の理解、自己分析シートの提出										
第2回	求められるダンサー像①/ダンススタジオで求められるダンサー像を理解する										
第3回	求められるダンサー像②/振付指導で求められるダンサー像を理解する										
第4回	求められるダンサー像③/ダンスキャストینگで求められるダンサー像を理解する										
第5回	ダンサーの人間力向上①/様々な現場で求められるダンサーについてグループワークで理解を深める										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
ミュージックジョブ 2	
第6回	ダンサーの人間力向上②/様々な現場でどのように課題解決をすべきかグループワークで理解を深める
第7回	ダンサーの人間力向上③/グループワークの内容を発表する為に準備をおこなう
第8回	ダンサーの人間力向上④/グループワークの内容を発表する為に準備をおこない、教員が修正箇所を確認する
第9回	ダンサーの人間力向上⑤/各班自分たちで考えた内容を発表し、質疑応答を受ける
第10回	ダンサーの人間力向上⑥/各班自分たちで考えた内容を発表し、質疑応答を受ける
第11回	ダンサーの人間力向上⑦/各班自分たちで考えた内容を発表し、質疑応答を受ける
第12回	業界研究ワーク①/テーマパーク・チアダンサーについて研究し、発表をする
第13回	業界研究ワーク②/ダンススタジオ・フィットネスについて研究し、発表する
第14回	業界研究ワーク③/ダンサーキャスティングについて研究し、発表する
第15回	まとめ/自分の志望する仕事との向き合い方についてワークを行い提出する